

災害対策推進・教育センター

■ スタッフ

センター長	岸和田 昌之 (肝胆膵・移植外科)	
副センター長	家城 洋平	
(救命救急・総合集治療センター、2022年度在籍)		
副センター長	寺村 文恵 (看護部)	
医師 兼任		2名
看護師 兼任		2名
	非常勤	2名
災害対策コーディネーター		1名
事務職員	非常勤	1名

■ 災害対策推進・教育センターの特色

災害対策推進・教育センターは、院内の災害対策の推進、防災体制の整備、実災害で活躍できる人材の養成、災害医療教育の普及啓発を図ることを目的として、令和3年4月1日に新たに設置されました。

院内の救命救急・総合集中治療センター、災害医療センター、防災関連会議や部会（防災会議、防災ワーキング・グループ、院外医療支援部会、災害リンクナースなど）の教職員、県内外の医療機関、三重大学本学、三重県や津市との行政や地域の皆さんと連携をとり、病院の災害対策を推進しています。

災害時医療への教育や普及啓蒙活動を、教職員のみならず学生や一般市民の方へも行っています。

1. 業務内容

1) 災害対策の推進

- (1) 災害時の事業継続計画（BCP）の策定や整備
- (2) 防災訓練の計画・実施：多数傷病者受入訓練、災害対策本部設立訓練、第2救護所訓練、さつき園・さくら組津波避難訓練、手術部地震訓練、小児周産期の災害時対応訓練など
- (3) 院内防災関連マニュアルの作成・見直し
- (4) 防災体制の整備：安否確認システム（ANPIC）、災害時の備蓄やインフラの整備
- (5) 防火訓練の計画・実施：通報、初期消火、避難誘導（消防法：2回/年以上）複数病棟火災訓練、手術部火災訓練、消火器使用訓練など
- (6) 防火体制の整備：自衛消防組織の体制確立

2) 災害時医療への教育および普及啓発活動

- (1) 職員研修：新人研修、EMIS 入力訓練、デジタル簡易無線操作訓練、第三陸特無線技士講習受講、

ドローン操縦者技能維持講習など

- (2) 防火の職員研修：自衛消防業務講習促進など
- (3) 災害医療教育：教職員・医学生への防火・防災訓練、黒潮医療人材養成プロジェクト（文科省）
- (4) 災害医療教育の普及啓発：HP、講演、高大連携授業、市民公開講座、動画（三重大学医学部附属病院公式 YouTube）、かわら版（院内広報誌）、Online MEWS（三重大学医学部附属病院公式のブログ）での「シリーズ記事：医療と防災」など

■ 活動実績

1. 業務実績

1) 災害対策の推進

- (1) 事業継続計画（BCP）で必要とされる各事項への対応状況の確認と対応策の検討
- (2) 防災訓練の計画・実施
 - i) 新人研修会（2022.4.7）
 - ii) 災害対策本部情報分析机上訓練（2022.5.17）
 - iii) 災害対策本部病院籠城机上訓練（2022.6.21）
 - iv) 病院避難机上訓練（2022.8.23）
 - v) 三重大学病院大規模地震時訓練（2022.10.1）
 - ①災害時報告訓練：病院教職員全員
安否確認訓練（安否確認、登院調査）、発災時報告入力訓練（病棟など）
 - ②病院避難二次トリアージ机上訓練：医療スタッフ（医師、看護師、薬剤師、放射線技師、検査技師）、医学科5年生（救命センター実習）
病院受入・避難に対する患者二次トリアージ
 - ③災害対策本部訓練：執行部、診療部、事務部
被災情報把握、病床管理、情報収集（アンピック、EMIS）、外部DMATや県調整本部と調整
 - ④院外搬送訓練：医師、看護師
防災ヘリ（三重県庁、小児周産期リエゾン、DMATヘリ調整と調整）、水陸両用バギー 使用訓練（津北消防署と連携）
 - ⑤搬送訓練：医学科5年生
担架およびエアーストレッチャーの座学・実技、浸水体験アプリによるAR体験
 - vi) さつき園・さくら組津波避難訓練（2022.10.18）
 - vii) 三重大学第2救護所開設・実働訓練（2022.11.22）
 - viii) デジタル簡易無線通信訓練（2022.12.2）
 - ix) 災害対策暫定本部設立机上訓練（2022.12.20）
 - x) 災害対策暫定本部設立実働訓練（2023.1.17）
 - x i) EMIS 入力訓練（2023.2.9）
 - x ii) 手術室地震机上訓練（2023.2.14）
 - x iii) 災害対策本部開設読み合せ訓練（2023.3.14）



(災害対策本部・多数傷病者受入の講習・机上訓練)



(津波籠城時病院搬送の講習・机上訓練)



(医学部生への実習)

(災害対策本部実働訓練)



(防災ヘリ搬送訓練)



(水陸両用バギー搬送訓練)



(エアーストレッチャー・担架搬送訓練)



(浸水アプリ AR 体験) (第2 救護所開設・実働訓練)



(さつき園・さくら組津波時避難訓練)



(手術室での地震時対応の机上訓練)



(3) 院内防災関連マニュアルの作成・見直し



(火災対応マニュアル) (本部アクションカード)

(4) 防災体制の整備：



(食事・飲水備蓄：3 日分)



(受水槽増築)

(5) 防火訓練の計画・実施：

- i) 火災訓練 (2022. 4. 7)：通報、初期消火
- ii) 病棟火災訓練 (2022. 11. 15)：3 病棟同時訓練 (5 南、8 南、10 北)
- iii) 手術室火災訓練 (2023. 1. 10)



(通報訓練)



(津北消防署員との連携)



(消火器、消火栓からの消火訓練)



(病棟での消火訓練)



(病棟避難誘導訓練)



(手術室での火災訓練)



(夜間での避難訓練)

2) 災害時医療への教育および普及啓発活動



(EMIS 入力訓練)



(デジタル簡易無線訓練)



(広報誌かわら版創刊号)



(市民公開講座チラシ)



(市民公開講座 講演・パネルディスカッション)



(ドクヘリ・防災ヘリ)



(災害時パッククッキング)



(三重テレビでの災害医療、三角巾実演の様子)



2. 臨床研究等の実績

- 1 岸和田昌之、ほか：南海トラフ地震、津波被害が想定される大学病院での肝胆膵・移植外科医の役割と課題. 日本外科学会雑誌 124 (1) 140-142、2023
- 2 岸和田昌之、ほか：南海トラフ地震、津波被害が想定される大学病院での肝胆膵・移植外科医の役割と課題 (特別企画 口演). 第 112 回日本外科学会総会 (熊本). 2022 年 4 月.
- 3) 岸和田昌之、ほか：南海トラフ巨大地震、津波浸水が想定される大学病院での災害医療人の育成—医学部生、医療・事務教職員、病院執行部の立場に応じて (口演). 第 28 回日本災害医療学会・学

術集会 (盛岡). 2023 年 3 月.

- 4) 家城洋平、ほか：「ポストコロナ時代における医療人材育成拠点形成事業 (黒潮プロジェクト)」における医学部生への病院避難二次トリアージ机上訓練 (口演). 第 28 回日本災害医療学会・学術集会 (盛岡). 2023 年 3 月.
- 5) 岸和田昌之：南海トラフ地震 その時慌てないために今できること (講演). 令和 4 年度 地域連携研修会 (主催：三重大学医学部附属病院 総合サポートセンター). 2022 年 5 月.
- 6) 岸和田昌之：南海トラフ地震 在宅医療・介護現場であわてないために (講演). 第 2 回 多職種連携研修会 (主催：津市在宅療養支援センター). 2022 年 9 月.
- 7) 岸和田昌之：南海トラフ地震に備えて—栄養士が取り組めること— (講演). 令和 4 年度 災害対策研修会 (主催：三重県栄養士会). 2022 年 12 月.
- 8) 岩本豊一：「危機対応について—自然災害への対応、テロ・弾道ミサイルなどへの対応」 (講演). 松阪市社会福祉協議会災害ボランティア養成講座. 2023 年 2 月.
- 9) 寺村文恵：必ず役立つ！応急手当の基礎知識 (講演). 三重大学医学部市民公開講座. 2022 年 3 月.
- 10) 岸和田昌之：「これだけは知っておきたい！大地震 津波への備え～医療者からのメッセージ～」. 三重テレビ放送 Mie ライブ「Front-line 三重大学病院」. 2023 年 2 月 24 日 18 時～18 時 15 分

■ 今後の展望

災害拠点病院として、災害時にも医療体制を継続し、一人でも多くの傷病者の救護を優先した医療を提供できるよう、災害時 BCP をはじめとする対策や運用、防災教育に尽力してまいります。

▶ 災害対策推進・教育センターHP

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/bumon/saitai-kyouiku/>

